

2013年4月4日(木)  
株式会社リクルートライフスタイル  
エイビーロード・リサーチ・センター

## エイビーロード AB-ROAD

### GW海外ツアー問合せ概況

2013GW海外ツアー、問合せ数は前年比 32%減。  
最多の問合せ先はオアフ島(ハワイ)。  
日程は、「出発分散」するも「帰国集中」の予想。

エイビーロード・リサーチ・センター(株式会社リクルートライフスタイル内、センター長・沢登次彦) は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』(<http://www.ab-road.net/>)における、カスタマーの海外ツアーへの e メールでの問合せの実績を集計し、2013 ゴールデンウィーク(GW)期間の海外旅行マーケットを考察した。

#### <骨子要約>

##### 1. 問合せ数前年比は32%減・・・P2

→全国計で前年比68%

主要出発地別では東京発64%、大阪発74%、名古屋発が前年比94%

##### 2. GWの人気旅行先・・・P2

→問合せ数の多さでは1位オアフ島(ハワイ)、2位台北、3位はパリ。

前年1位のパリを抑えて、オアフ島(ハワイ)が返り咲き。

ソウルが前年3位から7位へランクダウン、台北が前年5位から2位にランクアップ。

人気上昇傾向のシンガポールがついにTOP10にランクイン。

##### 3. GW海外ツアーの平均日数、出発・帰国希望日の集中状況・・・P3

→最多は5日間。4～6日間に集中。日程は前年比で平均5.9日→5.7日に減少。

→出発希望日は分散化するも、帰国希望日は連休後半に人気集中。

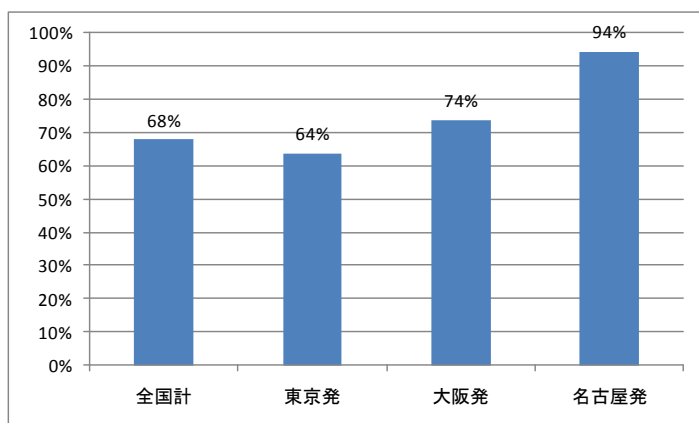
#### 【本件に関するお問い合わせ先】

<http://www.ab-road.net/frame/question.html>

## 1. GWの海外旅行問合せ数は前年比32%減

2013GW期間(4月27日～5月6日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行)のeメール新規問合せ数(1月1日～3月20日までの問合せを集計)は、前年比(4月28日～5月6日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行)で全国計が68%。主要出発地別では名古屋発海外ツアーの問合せ数が前年比94%と減少率が最も少なかった(データ1)。比較対象の前年2012年は、震災影響も一段落で円高影響や各方面への直行便の増加などもあり、例年になく2011年を大きく上回る勢いで問合せが増加。今年はその前年と比較すると、前年ほどの勢いは見られなかった。

### ■データ1: 2013GW期間の新規海外旅行問合せ数(前年比)



※1 全国計、各地発とも、前年eメール問合せ数を100%としたときの、2013年の問合せ数を%で表示。東京発は成田発・羽田発の合計。大阪発は関西発・伊丹発の合計。全国計には、東京、大阪、名古屋以外の発地(福岡、札幌など)を含む。

※2 GW期間の定義は、2013年は4月27日～5月6日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行、2012年は、4月28日～5月6日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行、2011年は4月29日～5月8日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行。すべて同年の1月1日～3月20日までに発生した問合せを集計。

## 2. GWツアーの人気旅行先

2013GW期間で最も人気の海外旅行先は、オアフ島(ハワイ)だった。オアフ島(ハワイ)は前年のパリにかわって1位に返り咲き。以下2位に台北、3位にパリ、4位にバルセロナ(スペイン)。2010年以降人気上昇傾向にあったシンガポールがついにTOP10入りを果たした(データ2)。

### ■データ2: GW期間の問合せが多い海外旅行先TOP10(2011～2013年比較)

順位	2013年問合せ旅行先	シェア	順位	2012年問合せ旅行先	シェア	順位	2011年問合せ旅行先	シェア
1	オアフ島	5.6%	1	パリ	4.5%	1	オアフ島	5.6%
2	台北	5.2%	2	オアフ島	4.1%	2	パリ	4.7%
3	パリ	4.5%	3	ソウル	4.1%	3	バリ島(インドネシア)	4.5%
4	バルセロナ(スペイン)	3.7%	4	バルセロナ(スペイン)	3.3%	4	ローマ	3.5%
5	バリ島(インドネシア)	3.6%	5	台北	3.2%	5	バルセロナ(スペイン)	3.1%
6	バンコク	3.4%	6	バンコク	2.8%	6	ソウル	2.9%
7	ソウル	3.1%	7	ローマ	2.7%	7	イスタンブール(トルコ)	2.8%
8	イスタンブール(トルコ)	3.0%	8	バリ島(インドネシア)	2.5%	8	ホーチミン(ベトナム)	2.1%
9	ローマ	2.8%	9	グアム	2.2%	9	フィレンツェ(イタリア)	2.0%
10	シンガポール	2.3%	10	イスタンブール(トルコ)	2.1%	10	シエムリアップ(カンボジア)	2.0%

※3 データ抽出の定義はデータ1※2と同様(以下、データ3～5も同様)。

※4 シェアが同率の旅行先は、小数点第2位まで算出し順位付けを行った。2012年2位オアフ島のシェアは4.14%、ソウルのシェアは4.07%。2011年9位フィレンツェ(イタリア)のシェアは2.01%、10位シエムリアップ(カンボジア)のシェアは2.00%。

### 3. GWツアーの日程、希望する出発日・帰国日

～平均日数は前年比0.2日減少、5日間が最多で、帰国希望が連休後半に集中～

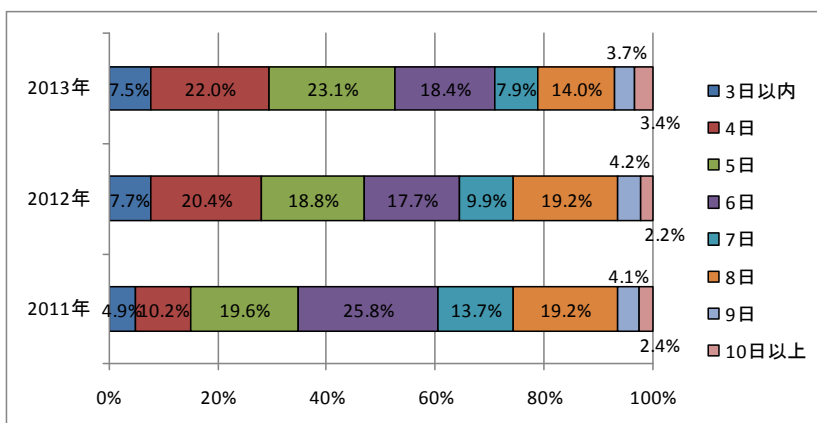
エイビーロードで問合せのあったツアー日数に関しては、2013年では5日間が最多で、4日～6日間に集中した。5日以内の問合せ計が、半数以上(52.5%)となり、2011年の34.7%、2012年の46.9%と増加の一途。一方で、8日間が14.0%となり、2011年、2012年の19.2%からシェアが減少した。(データ3)

平均旅行日数は5.7日と、2011年、2012年と比べて短期化傾向に(データ4)。カレンダーの日並び上、前後の連休の間に平日が3日(前年は2日)入ることで長期の休みが取りにくい日並びとなっており、そのことが影響しているようだ。

出発希望日について、昨年は4月末の連休初日が最多であったが、2013年は5月3日が最多となった。ツアー日数の状況と合わせて鑑みると、4月末の連休を使った前半組と5月3日以降の連休を使った後半組に分散の状況がみられる。

また、帰国希望日は連休最終日の5月6日が最多の27.2%、以下、5月5日→4日→3日→4月29日の順で人気である。(データ5)

#### ■データ3: GWツアー日数別問合せシェア(2011～2013年比較)



#### ■データ4: GWツアー問合せ平均日数(2011～2013年比較)

年	2013	2012	2011
平均日数	5.7日	5.9日	6.2日

#### ■データ5: GWツアー問合せでの希望出発日・帰国日

順位	希望した出発日	出発日 問合せシェア	希望した帰国日	帰国日 希望シェア
1	5月3日	17.6%	5月6日	27.2%
2	5月2日	13.8%	5月5日	14.4%
3	4月26日	11.5%	5月4日	10.6%
4	4月27日	11.0%	5月3日	9.3%
5	4月25日	9.7%	4月29日	8.3%

＜総評・解説＞ 問合せ数は、昨年比で32%減少。

人気の行き先はオアフ島が1位に返り咲き。日数は短期化傾向で、連休前半と連休後半の旅行に分散が見られた。

2013年のGWツアー予約問合せは、全体では前年比68%と減少傾向であった。前年の2012年は、震災影響も一段落で円高影響や各方面への直行便の増加などもあり、2011年を大きく上回る勢いで問合せが増したが、2013年は円安傾向、GWのカレンダーの日並び状況なども影響してか、前年ほどの勢いはみられなかったといえる。

平均の旅行日数は5.7日と前年比ではマイナス0.2日となり、2011年と2012年に約2割のシェアで存在する「8日間」がポイントを落とし、「4日」「5日」の期間に集中する短期化傾向が見られた。カレンダーの日並び上、前後の連休の間に平日が3日（前年は2日）入ることで長期の休みが取りにくくなり、4月末の連休利用の前半組と5月3日以降の連休利用の後半組に分散の状況が見られる。

人気の行き先としては、前年1位だった遠距離のパリが3位にランクダウンして、オアフ島（ハワイ）が1位に返り咲き。根強い人気を誇るハワイは、5、6日のツアーバリエーションが多く、今年短期化の傾向にある旅行先としても注目されたと思われる。前年3位のソウルは、例年定番の人気の行き先だが7位にランクダウン。円高ウォン安で、毎年前年を大きく上回る勢いで好調だったソウルだが、こここのところの円安基調と、国際問題の影響などが理由として考えられる。一方、手軽な価格帯で、ソウルと同等の渡航時間で行くことができる台北は、前年5位からランクアップした。

さらに、2010年以降人気上昇傾向にあったシンガポールが、いよいよ問合せの多い行き先TOP10入りを果たし、定番の人気の行き先となったことも特徴的だ。

またTOP10の顔ぶれをみると、日数の短期化にもかかわらず、近距離旅行先の他、遠距離の旅行先もランクインしているが、旅行日数が限られている中、特定の「出発日」「帰国日」に人気が集まるため、空席を求めて旅行予定者が活発に問合せを行う状況がみられる。毎年同様の傾向にあり、今年の出発日の希望は多少分散しているが、帰国日の希望は連休後半になればなるほど集中し帰りの便が確保できるかどうか予約の可否を決めそう。これからの予約は、人気の集中している日程と旅行日数を避けた行程で、予約確保が高まる可能性がありそうだ。